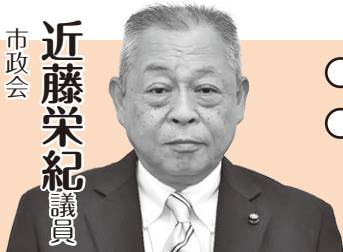


近藤栄紀
議員
市政会



○ ハザードマップについて ○ 福井県立恐竜博物館休館時の対応について

議 最新のハザードマップは、8月のような大雨を想定しているのか。時間雨量100mmを超える大雨が降った場合、土石流や地滑りなど発生する可能性が高い。風水害時に利用可能な避難所など、ハザードマップの見直しが必要ではないか。

理 市では、避難施設として36施設を指定避難所に指定しているが、災害の種類によって使用できない施設もある。また、避難情報を発令する際に住民が安全に避難できるように避難所を選定して知らせているが、避難者が不安感を覚えることも想定される。そのため、各地区に災害種別に応じてどこに避難するのが適切なのかなど防災に対する知識の普及を図ることが必要である。

今回改訂したハザードマップを用いて、各地区の災害リスクやマップの見方、避難場所や避難方法などを周知し、平常時からの防災意識の向上と自発的で安全で的確な避難の心構えを養い、警戒時・災害時の円滑かつ迅速な避難を住民一人ひとりができるように努めていく。

議 ハザードマップを見直す予定は現時点ではないが、ハザードマップに関する意見を次回改訂時に反映していく。

議 県は、令和4年12月から令和5年夏までに休館する方針を示した。リニューアルオープン時期を伺う。

当市 にとって大変な影響が出ると思うが、この間、県、当市はどのような対応を検討しているのか。

理 県は、北陸新幹線開業に伴い、恐竜博物館企画展の開催やリニューアルオープンに向けたPR活動を実施していると聞いている。

市は、北陸新幹線県内開業と連携した誘客イベントをかつやま恐竜の森やスキージャム勝山、白山平泉寺や道の駅の周辺などで開催することを検討している。

また、市内誘客が落ち込まないよう恐竜博物館企画展会場と市内の誘客イベント会場を周遊するスタンプラリーの実施等を検討している。

これらに関する予算は、本年12月補正予算で計上し、休館中の勝山市への誘客による地域経済の下支えに努めたい。

松山信裕
議員
新風会・公明



○ 勝山市の防災関係について ○ 発達障害児への支援について

その他の質問
・デジタルアーカイブについて

議 ①勝山市地域防災組織連絡会について
各地区自主防災組織間で情報を共有できる体制を整え、地域全体の防災力を底上げし、組織力の向上を図ることを目的とする自主防災組織連絡協議会の創設の進捗状況は。

理 ②個別避難計画について
勝山市における災害時の避難に支援が必要な高齢者や障害者ら一人一人の「個別避難計画」策定の取り組みと課題は。

議 ①今年度に入り、各地区最初の区長会で説明し、全体の設立準備会議を2回開催した。7、8月には再度区長会で連絡会の設立に関する趣旨説明を行った。早期に3回目の設立準備会議を開き、今秋の勝山市地域防災組織連絡会設立を目指す。

②市では、当初から個別避難計画を作成しており、この点については県から先進的との評価を受けている。

しかし、人口減少や高齢化により支援者の確保が困難となってきた点が課題と考えている。

議 小中学校の発達障害の支援について
小中学校の通常学級には、発達障害の可能性がある児童生徒が10人に1人とも言われている。学校現場における発達障害児支援の現状と課題はどのようなになっているのか。

理 通常学級に在籍し、特別な支援や配慮を必要とする児童生徒に対し、就学支援委員会の判断のもと、通級による指導を行っている。そこでは教科の学習やソーシャルスキルトレーニングなど一人一人のニーズに応じた指導を行っている。通級指導を必要としない児童生徒に対して、それぞれの教育的ニーズに応じて適切な指導や必要な支援を行っている。

特別な支援や配慮を必要とする児童生徒が通常学級にも在籍していることや、複数の障害を併せ持っている児童生徒が増えていることから、全ての先生方の指導力向上が課題であると考えている。特に、今年度は県の専門員が各校を巡回し、具体的な支援方法や校内支援体制について助言を行っている。